

1級

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一) 読み
いた	はずかし	ゆる	のが	た	にえ	かなまり	こざね	むかつ	さすが	せんはく	そうめん	てんわん	あいけん	さいじ	しし	ちがい	らしよう	ろうしつ	いんも	こうかく	とうたん	たんたん	しゅんしゅう	ひど	だぞく	ほうこうぜん	ちゅうこう	しんりよう	せんめい	(30)

1×30

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 書き取り
問	鞆	好漢	浩瀚	降鑑	校勘	枯槁	賺	撓垂	鉄柺	骨粗鬆	韜晦癖	桴撈	眷恋	行潦	報賽	幽邃	荼毘	独鈷	真逆	(40)

2×20

5	4	3	2	1	問2 意味と読み	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(四) 四字熟語	5	4	3	2	1	(三) 語選択書き取り
ほうし	せんし	ようや	こつらく	しょうけい		下石	斬棘	瓦狗	左衽	憑河	開権	度徳	射石	跛鼈	韋編		風騷	勵厲声	邯鄲師	旄倪	正覚坊	(10)

2×5

2×10

2×5

オ		エ		ウ		イ		ア		(六) 一熟語の読み 字訓の読み (10)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五) 熟字訓・当て字 (10)
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
さ	ひんしつ	も	ひょうけん	ひ	もんしつ	お	ずいしゆく	え	かんたい		つくもがみ	チベット	い	つ	よりまし	トマト	かたびら	め	ひ	ふたりしずか	
だ	つ	た	ね	ね	つ	そ		ら										こ			
										1×10											1×10

1×10

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(八) 故事・諺	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(七) 対義語・類義語
輿薪	竜蟠	鑿鑿	梧鼠	輪写	忘形	萍水	藁苞	九仞	殷鑑		彭殤	甚助	阡陌	彝倫	致仕	已往	貶黜	誚讓	詰屈	躬行	(20)

2×10

2×10

コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア	読み	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(九) 文章題
とくろ	こんとう	いや	あぶら	まぶ	れんこく	の	つ	し	こうこう		迸	瓔珞	本貫	曾遊	曠職	有司	恬	牧民	乙夜	草莽	(30)

1×10

2×10

準1級

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一)読み
け	あ	ふ	や	き	そ	ほ	く	あ	う	は	じ	と	す	じ	し	そ	じ	かん	す	し	はん	び	こ	そ	わ	け	ち	お		
わ	わ	さ	す	び	そ	む	ろ	ぜ	ば	な	よう	く	い	ゆ	き	と	ん	ん	し	ろ	ん	う	う	く	く	が	の	う	い	
(30) 1×30																														

5	4	3	2	1	(四) 共通の漢字 (10)	オ		エ		ウ		イ		ア		(三) 一熟語の読み (10)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 表外の読み (10)
悪	津	貌	先	論		10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		と	あ	つ	よ	そ	ほ	み	し	つ	へ	
						は	す	ひ	は	さ	ば	う	べ	み	ぶ		が	ざ	な	か	こ	ほ	ご	こ	い		
2×5					し	う	る	ん	ら	くり	よう		つ	あ	だ	つ	1×10										

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五)
棺	歆	観	罷	峻拒	一掬	利鞘	鍾乳洞	托鉢	波濤	笹藪	淘汰	樵	葱	煉瓦	位牌	辿	煤	醬油	漁	書き取り
																				(40)
																				2×20

5	4	3	2	1	問2意味と読み	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(七)四字熟語	5	4	3	2	1	(六)誤字訂正
と	き	い	き	と		活	竿	云	鴻	転	簞	桃	甜	無	天	問1書き取り	羽	字	灰	添	痕	誤
ま	く	っ	よ	う		剥	頭	為	離	生	食	李	言	常	祐		烏	辞	芥	点	恨	正
つ	じ	し	せい	き	(20) 2×5											(30)						

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(九) 故事・諺 (20)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(ハ) 対義語・類義語 (20)
郷原(愿)	笑壺	糾(糺)	一炊	恢恢々恢	晦朔	戎馬	素素麵	爾汝	鉦		出奔	偏私	上梓	牙城	盈虚	悪罵	怯弱	永劫	帰順	定跡石	
2×10											2×10										

コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア	読み	5	4	3	2	1	(十)文章題
か	み		こ	や	れ	こ	あ	か	し		指	秘	双	京	寓	
つ	だ	す	こと		ん	ぼ	だ	な	お		顧	訣	六	洛	意	
			と		こ		う		ど	(20) 2×5						

2級 (A)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
いのちご	たまわ	いつわ	はなかご	くつがえ	みずぎわ	しりもち	けが	せ	かんこどり	ちかけい	けんしょう	しはい	かんがん	きようしゅう	ふうさい	さんろく	しさく	こうずか	ぜんじ	てっぴ	せっしょう	じゅんぼく	ひけん	じぎ	じようじゅ	りようかん	おくせつ	うっぱん	はんれい

1×30 (30)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	エ	オ	イ	ウ	ア	エ	ア	ウ

2×10 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
そそのか	きようさ	いしずえ	そせき	しいた	ぼうぎやく	な	いしゆく	たく	こうち

1×10 (10)

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。										15	14	13	12	11	問2 意味	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1 書き取り
										コ	キ	ク	イ	ケ		雲泥	泰然	妙計	枝葉	妖怪	氷人	無縫	秀麗	異曲	流転	

2×5 (30)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1 対義語・類義語
凝	懲	蜂起	放棄	信仰	振興	焼酎	掌中	清澄	整腸	
紛糾	幽閉	謹呈	刹那	欠陥	今後	治癒	騰貴	枯渴	慶賀	問2 対義語・類義語

2×10 (20)

5	4	3	2	1
疾患	一矢	造詣	巢窟	均衡

2×5 (10)

(下へつづく)

5	4	3	2	1
侮っ	著しく	施さ	漬ける	妬ま

2×5 (10)

5	4	3	2	1	
床	寡	激	襲	偉	誤
礁	禍	撃	酬	威	正

2×5 (10)

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
葬	火蓋	常夏	綱	苗木	履	緒	初々初	控	飢餓	脱臼	詰問	狭小	煮沸	圧搾	琴線	循環	絞首	音頭	余薫

準2級 (A)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
お	た	あ	つ	よ	わ	つ	う	て	っ	ゆう	し	こう	ち	こう	ゆ	て	へ	さん	め	こ	え	し	じ	こん	けん	じゅう	だ	べ	どう
お	み	ま		い		に	た	ぜ	っ	しゅう	かん	なん	かく	はい	え	っ	い	どう	い	く	っ	う	くん	こん	さく	たい	い	せ	き

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
く	れ	き	き	く	き	く	さい	う	じゅん
さ	ん	わ	よく	る	よう	だ	せ	る	ん
り	さ		ち		ほん		き	お	たく

(二) 音訓読み (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ウ	エ	ア	エ	オ	ウ	イ	ウ

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
オ	ア	ク	カ	ケ	意味	離	衝	周	磨	途	飛	劣	到	遅	曲	書き取り

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

(四) 四字熟語 (30) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
壊	声	白	拍	傍	剖	範	頒	壊	浄	対義語・類義語	永	披	富	親	撲	軽	購	寡	老	凡
										(20)	眠	露	豪	密	滅	薄	入	黙	練	才

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
探	更	概	風	原
偵	新	念	鈴	稿

(九) 書き取り (50) 2×25

5	4	3	2	1
陥	損	腐	輝	鍛
っ	ね	る	かしい	え

(八) 漢字と送りがな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
視	急	収	単	徐	誤
紫	窮	酬	淡	除	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
縫	竜	畝	償	滑	棟	鑄	恵	潜	懸	近	送	移	治	落	足	発	屈	拷	診
	巻								賞	隣	還	籍	癒	雷	跡	泡	折	問	断

(下へつづく)

検定日 2026年6月21日

2 × 20

4級 (A)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ふ	とうげ	かわ	みおと	あぎ	およ	はか	となり	しずく	ほはば	しんこう	さんじょう	しもん	いじ	ひが	たいかん	りょうよう	てんぷ	いげん	みょうぎ	はんろ	ちゅうけん	しゅわん	とつぷう	にゅうか	ゆうもう	ろんきよ	さいくつ	こうまん	よとう

1×30 (30)

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	ウ	イ	エ	ウ	オ	オ	イ	エ	イ	エ	ア	イ	オ	ウ
繰	暮	朽	誇	鼓	故	望	忙	傍	精	召	称	凶	驚	況

2×15 (30)

5	4	3	2	1
ウ	イ	ケ	ク	力
彩	珍	影	凡	涙

2×5 (10)

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ウ	エ	イ	ウ	イ	ア	イ	ア	エ
幺	四	之	行	皿	戈	戸	月	二	ロ

1×10 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	イ	ウ	エ	ウ	オ	ア	イ	エ	ウ

2×10 (20)

5	4	3	2	1
黙	支	占	快	惑
る	え	める	く	わさ

2×5 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
加	護	逆	絡	質	延	給	相	苦	床

2×10 (20)

5	4	3	2	1	
適	向	監	拍	共	誤
摘	更	環	博	強	正

2×5 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
行	金	横	跡	依	里	絶	豊	急	辞

2×10 (20)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
責	汗	座	含	沈	背	煮	澄	弾	負	粒	鉄	容	居	禁	断	化	玄	信	宿
					中	物		圧	担	子	壁	易	住	煙	片	身	関	頼	泊

2×20 (40)

検定日 2026年6月21日

5
級
(A)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(士) 漢字
捨	砂糖	暮	頂	鉄棒	専門	視界	蚕	簡潔	権利	呼	幼	展示	秘密	窓	延長	縮	区域	盛	染	

検定日 2026年6月21日

6
級
(A)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(土) 漢字
歷史	感謝	比	內容	志	災害	宮	再	保健	逆	佛像	告	指導	豐	原因	額	夢	球技	伝統	燃	

(40)

第1回 日本漢字能力検定 標準解答

7級

(A)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
と	ゆうこう	そうこ	むす	がいとう	こくみん	ぎようこう	ほうぼく	きようそう	かた	けんこう	はじ	やさい	あらた	ざいりよう	わか	あんしょう	なわ	しず	うめ

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ウ	ア	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	イ

(三) 漢字えらび(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
あ	せんきよ	あつ	ねつ	つと	どりよく	つめ	れいせい	わ	いちりんしゃ

(二) 読み (10) 1×10

5	4	3	2	1
昨	満	無	席	利

(六) 対義語(一字) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ

(五) 音読み・訓読み(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
総画数					何画目				
8	12	9	6	7	5	8	10	4	9

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

ウ				イ			ア		
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
億	低	位	伝	城	地	塩	末	束	果

(八) 同じ部首の漢字 (20) 2×10

7	6	5	4	3	2	1
覚める	包む	清い	建てる	連なる	最も	借りる

(七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14) 2×7

五		四		三		二		一	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ウ	エ	ア	オ	ウ	ア	エ	オ	イ

(十) 同じく語作り(記号) (20) 2×10

8	7	6	5	4	3	2	1
候	功	管	完	要	養	刷	察

(九) 同じ読みの漢字 (16) 2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
積	陸	種	戦	松	辺	願	浴	議	折	念	軍	浅	児	卒	典	笑	径	求	芽

(十二) 漢字 (40) 2×20

(一) つぎの―線の漢字の読みがなを―線の右に書きなさい。

(30
1×30)

- ひばりが美しい声で鳴いている。
- 道路にできた水たまりをどびこす。
- げきの主役にえらばれる。
- 後ろを向いて友だちに話しかけた。
- 白地図に田や畑の記号を書きこむ。
- ふろしかりにつめたい麦茶を飲む。
- チームは期待どおり勝利した。
- 相手の身になってよく考える。
- 図書室で童話の本をかいた。
- 公園の青葉が雨にぬれてきれいだ。
- 明日はえい画を見に行く予定だ。
- 店の人に商品のねだんをたずねる。
- 春にきく花を植物図かんて調べた。
- 正方形は四つの辺の長さが等しい。
- 色紙で作った箱にビー玉を入れた。
- 悪いおにをこらしめる話を読む。
- 夕方、海の近くのホテルに着いた。
- 石油や石炭は火力発電に使われる。
- 島の神社に水の神がまつられていた。
- 駅前に高いビルがならんでいる。

院 題 緑 昔 宿
旅 問 死 昭 植

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに書きますか。○の中に数字を書きなさい。

(10
1×10)

(三) (一)の中に漢字を書いて、上のはんたいのいみのことばにしなさい。

(10
2×5)

止まる ― (動)く
勝つ ― (負)ける
楽しい ― (苦)しい
点火 ― (消)火
のばす ― (曲)げる

(四) おなじなかなの漢字を□の中に書きなさい。

(20
2×10)

くさかんむり 薬局・落とす
てへん 持ち物・指先
(心)ろ 感想・悲しみ
しんにょう 遊び場・進む
(車) 回転・軽い
―うらへつづく―

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕

(五) つぎの(一)の中に漢字を書きなさい。

(20
2×10)

計算をまちがえないように注(意)する。
(医)者にけがの手当てをしてもらう。
文具店で(習)字に使う半紙を買う。
バスは(終)点までこみ合っていた。
(次)回の大会は八月に行われる。
家の近くで水道工(事)をしている。
日曜日に近くの広場で野(球)をした。
(急)行電車がホームに入ってきた。
緑色の表紙の日記(帳)をえらんだ。
一(丁)の豆ふを四つに切った。

(六) つぎの―線のカタカナを○の中の漢字をおくりがなひらがなで□の中に書きなさい。

(10
2×5)

1 育 花だんでパンジーをソダテル。
2 集 湖のはとりに野鳥がアツマル。
3 深 きれいな空気をフカクすいこむ。
4 整 外出する前に服をトノエル。
5 運 ぞうが鼻でりんごを口にハコフ。
大きい
オオキイ花がさく。

(七) つぎの―線の漢字の読みがなを―線の右に書きなさい。

(10
1×10)

新しいスーパーが明日開店する。
海べの町で花火大会が開かれた。
自分の考えをみんなの前で発表する。
表に出ると日差しが強かった。
妹が母のまねをする様子がかわい。
王様が馬に乗ってあらわれる。
根気よく細かい作業をつづける。
屋根にはどが三羽とまっている。
短時間に多くの雨がふった。
美よう院でかみを短く切った。

(八) つぎの□の中に漢字を書きなさい。

(40
2×20)

1 理科の時間に 温 度計の正しい使い方を 勉 強した。
2 黒板に書かれた文章を ノートに書き写す。

3 姉は六時ごろには 起 きて、おべんどう作りを 始 める。
4 町の図書館でかりた本は星を 研 究するのに役立った。
5 庭 にさいているあじさいを 写 真にとった。
6 左右の 安 全をたしかめてから 横 だん歩道をわたる。
7 おじいさんから 有 名な神社の 守 りをもらった。
8 走り回る子犬を 追 いかけて 息 が切れた。
9 明日の朝、外国の大きな 客 船が 港 に入ってくるそうだ。
10 日食で太 陽 が月にかくれて、昼間なのに 暗 くなった。
お わ り

(一) つぎの文をよんで、——せんの漢字の
よみがなを——せんの右にかきなさい。

1 毎日朝ごはんをしっかりと
食べる。

2 市やくしよの南がわに広い
公園がある。

3 池のほとりに、羽が黒くて
くちばしの白い鳥がいた。

4 父のふる里のおばあさんが
米をおくってくれた。

5 兄といっしょに紙ひこうきを
作って、原っぱで飛ばした。

6 夏休みになったら、海べで
キャンプをする。今から

とても楽しみたい。

7 学校の近くの店を見学した。

帰るとき、店の人に心を

こめておれいを言った。

8 きう買った新しい
かさは、きらきら光る
星のようがついている。

(二) つぎの漢字のふといころはなんばんに
かきますか。○の中にう字をかきなさい。

妹組科番内
語前冬親京
5 8 6 7 3
14 9 5 16 8

(三) □にひらがなを一字かいてつぎの
ことばのよみをこたえなさい。

正直……しうじき
風船……ふうせん
四角形……しかくけい
今夜……こんや
絵画……かいが

(四) つぎの文をよんで、——せんの漢字の
よみがなを——せんの右にかきなさい。

遠足のもちものをそろえる。
車にのって遠くの町へ行く。

雨でしあいが中止になった。

ころがるボールを足で止めた。

わたしは歌手になりたい。

大きな声で歌を歌う。

きう食当番がパンをくぱる。

まどのまん中に矢が当たった。

りよこうの計画を立てる。

時間を計ってたまこをゆでる。

——うらへつづく——

(五) つぎの……せんのはらがなを漢字で
はうのばんこうに○をつけてなさい。正しい

はん年 1 来年
人けん 1 人間
て首 1 手首
大きく 1 大土
どう点 1 同点
歩きかた 1 歩き方

(六) れいのようにおなじな漢字を
□の中にかななさい。

雨雲 雪 だるま
語り 話す
帰り道 先週
地図 回す
引 引き 力 強い

(七) つぎの□の中に漢字をかきなさい。

父 母 買う 売る
春 秋 見る 聞く
山 谷 考える 思う
馬 牛 細い 太い
石 岩 くらい 明るい

(八) つぎの文をよんで、□の中に漢字を
かきなさい。

1 ぞうが長いのはで、
2 姉は、電車で高校へ
3 東の空に七色ののじが
見えた。

4 わたしは魚より肉の
ほうが好きだ。

5 大きな船にのって外へ
行ってみたい。

6 自分で算数のドリルの

7 午後六時に、寺の

8 弟が台どころで

9 雨がふっていたので、

10 麦茶をのんでいる。

11 昼休みは教室で

12 読書をした。

13 読書をした。

14 読書をした。

15 読書をした。

16 読書をした。

17 読書をした。

18 読書をした。

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

1 つぎのぶんをよんで、———の
かん字のよみをかきなさい。
みぎにかきなさい。

1 川でとっためだかを

ニひき、小さな

バケツに入れた。

2 雨がようやく上がって

空があかるくなった。

3 あたらしいノートに

じぶんの名まえを

かん字で正しくかく。

4 休みの日にともだち

三人とこうえんにいき、

竹うまであそんだ。

貝 七 女 空 竹 耳
3 1 2 5 4 2

糸 青 生 休 村 火
6 8 5 6 7 4

2 つぎのかん字のふいところ
なんばんめにかきますか。○の
なかにすう字をかきなさい。

大きなみこしをかついだ。

人たちが力をあわせて

6 村のおまつりで男の

ついてしらべる。

5 林にすむ生きものに

3 つぎのぶんをよんで、———の
かん字のよみをかきなさい。
みぎにかきなさい。

わたしは水えいがとくいだ。

あさがおの水やりをする。

まいばん九じにねる。

いちごを九つたべた。

がいこくの人とあく手した。

おばあさんに手がみをかく。

ぼくはらい年、ハさいになる。

お年よりにせきをゆずる。

——うらへつづく——

4 つぎのこたばのよみがなてだしい。
ほうのばんごうに○をつけなさい。

1 こん虫 ① こんちゅう

2 六名 ② 1 ろくめえ

3 女子 ② 1 ぢよし

4 王さま ② 1 おうさま

5 五日 ② 1 いつか

5 □にひらがなを一字かいてつぎの
こたばのよみをこたえなさい。
(れい ふじ山……ふじさん)

先生……せんせい

貝がら……かいがら

一本……いっぽん

火力……かりよく

大小……だいしょう

6 つぎの□のなかにかん字をかきなさい。

上……下 ふね……車

耳……口 千円……百円

ほし……月 あさ日……夕日

ぎん……金 きく……見る

いわ……石 くろい……白

1 子犬……四ひき、

ならんでねている。

2 きようはあさ早く

4 目がさめた。

3 はるのえん足で

6 山のぼりをした。

4 草はらでかまきりの

8 赤ちゃんをつかまえた。

5 バラの花をテーブルの

まん中にかざる。

6 天気の良い日に

7 ピアノの右はしの

けんばんをたたくと

たかい音が出た。

8 学校のもののそばに

大きなさくらの木が

20 立っている。

——おわり——

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。